

## こんな勉強もしています

### その1 学校たんけん

少し前のことになりますが、5月2日、2年生が1年生に学校のいろんな場所を紹介して回る『学校たんけん』の勉強に取り組みました。生活科の勉強で毎年行っているもので、先輩となった2年生はこの日のために、1年生に楽しんでもらおうと、校内のいろんな場所について、使われ方や約束などの説明やクイズを考えたり、上手な案内の仕方を練習したりと、準備を重ねてきました。本番は1年生をエスコートする係と、それぞれの場所で説明やクイズをする係とに分かれ、1年生に優しく語りかけたり、うまく伝わっていないと思ったときは繰り返し説明したりクイズを出したりと、先輩らしい姿をたくさん見せてくれました。一生懸命お話を聞く1年生の姿もかわいく、見ていてほっこりする和やかなひとときになりました。



### その2 出前考古学教室

5月26日、高知県埋蔵文化財センターから4人の先生をお招きし、6年生の『出前考古学教室』が開かれました。高知県にある遺跡の数や遺跡から分かること等を説明してもらうコーナー、土器や石器に触れながら学習するコーナー、火起こし体験コーナーと3つの内容で、たっぷり2時間勉強しました。高知県には約2700もの遺跡があることに驚いたり、写真ではわからない土器の表面の様子を手触りで感じたり、腕がつかれるまでマイグリを回して火おこしの大変さを実感したりと、体験を通して昔のことをたくさん勉強することができました。



## お知らせ

○最近になり、マスクの着用について、いろんな情報を耳にするようになりましたが、マスク着用は感染予防のための効果的な手段であることに変わりはありません。屋内外いずれの場合も身体的距離が確保できない場で会話をする場合は着用する、運動しているときは熱中症予防のために着用の必要はない等、ほぼこれまで通りです。国や県、市からの指針に基づき、児童の状況や活動内容、気象条件によりマスク着脱の指導をしていきますので、引き続きご協力をお願いします。裏面にあります厚生労働省の資料もご覧ください。

○5月29日（日）AM7:00 から放送される高知放送の『おはよう高知』内で、十津小学校のタブレットを使った体育学習が紹介されます。ぜひご覧ください。

## マスク着用の考え方及び就学前児の取扱いについて

- アドバイザリーボードで示された専門家の考え方（5/19）も踏まえ、以下のように対応する。
  - 基本的な感染対策としてのマスク着用の位置づけは変更しない
  - 身体的距離が確保できないが、会話をほとんど行わない場合のマスク着用の考え方を明確化
  - 就学前の児童（2歳以上）のマスク着用について、オミクロン株対策以前の取扱いに戻す
- 引き続き、マスク着用を含めた基本的な感染対策（手指衛生や換気など）を徹底していただくとともに、こうしたマスク着用に関する考え方は、リーフレット等を作成し、丁寧に周知・広報を行う。

### 1. マスク着用の考え方

|             | 身体的距離(※)が確保できる<br>※2m以上を目安                |                        | 身体的距離が確保できない          |                        |
|-------------|-------------------------------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|
|             | 屋 内 (注)                                   | 屋 外                    | 屋 内 (注)               | 屋 外                    |
| 会話を行う       | 着用を推奨する<br>(十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可) | 着用の必要はない<br><b>事例①</b> | 着用を推奨する               | 着用を推奨する                |
| 会話をほとんど行わない | 着用の必要はない                                  | 着用の必要はない               | 着用を推奨する<br><b>事例③</b> | 着用の必要はない<br><b>事例②</b> |

(注) 外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など

※夏場については、熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要はない」場面で、マスクを外すことを推奨。

※お年寄りや会う時や病院に行く時などハイリスク者と接する場合にはマスクを着用する。

#### 事例①

- ・ランニングなど離れて行う運動
- ・鬼ごっこなど密にならない外遊び

#### 事例②

- ・徒歩での通勤など、屋外で人とすれ違うような場合

#### 事例③

- ・通勤電車の中

### 2. 小学校就学前の児童のマスク着用について

- 2歳未満（乳幼児）は、引き続き、マスク着用は奨めない。
- 2歳以上は、以下のとおり、オミクロン株対策以前の新型コロナウイルス対策の取扱いに戻す。

「保育所等では、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。なお、施設内に感染者が生じている場合などにおいて、施設管理者等の判断により、可能な範囲で、マスクの着用を求めることは考えられる」

(注) 2歳以上については、本年2月の基本的対処方針の改訂時に、オミクロン株の特徴を踏まえた対応とし「保育所等では、発育状況等からマスクの着用が無理なく可能と判断される児童については、可能な範囲で、一時的に、マスク着用を奨める」としていた。